

地域学校協働本部だより

第6号
令和2年3月17日(火)発行
大玉村地域学校協働本部（農村環境改善センター内）
大玉村玉井字西庵183 TEL 0243-48-3139

2019年度 コミュニティ復興支援事業（文科省委託事業） 福島県地域学校協働活動事業推進フォーラムから

令和2年1月28日（火）ビッグパレット（郡山市）に於いて、「2019年度福島県地域学校協働活動の事業推進フォーラム」が開催されました。フォーラムには、県内外の教育関係者、PTA、社会教育行政関係者、コーディネーター、ボランティア等316名が参加し、8モデル地区の実践発表（大玉村、国見町、天栄村、西郷村、西会津町、双葉町、川内村、檜葉町）、文科省大臣官房文教施設企画官の基調講演、シンポジウム（テーマ「地域と共にある学校をつくる」）等が行われました。（会場は熱気に包まれ、充実したフォーラムになりました！）



1 モデル地区地域学校協働本部の実践発表

国見町（地域の祭り「義経公行列」への参加、学校支援活動「あんぼ柿づくり」）
大玉村（3年間の歩み、「おおたま・オータム・フェスタ」）
天栄村（天栄村ARガイドマップ・グルメマップ、英語の村てんえい）
西郷村（学習支援活動「ステップ・フリー学習教室」、地域活動・ボランティア活動）
西会津町（5つの事業〈学校応援事業、放課後子ども教室他〉の概要について）
双葉町（放課後学習支援「ふたばっ子学習会」、小・中の取り組み事例）
川内村（小・中の取り組み事例「農業体験」「復興子ども教室」「ふるさと連携教育」）
檜葉町（学習支援活動「ゆずり葉学習会」、「町イベント（ならSUNフェス）への参加他」）

2 基調講演「地域と共にある学校をつくる～地域連携担当教職員の使命と、地域と学校の連携、共同の推進～」

3 シンポジウムテーマ「地域と共にある学校をつくる」

本年度で3年間のモデル地区は終了しますが、本村では、この3年間の実践を基にし、さらに充実・発展させた活動を継続してまいりたいと考えています。
今後とも、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。 協働本部一同

土曜日、長期休業中の学習支援活動

共に学ぶ「おおたま未来塾」

本年度も、土曜日や長期休業中を利用して「共に学ぶ『おおたま未来塾』」を実施し、下記のような成果を得ることができました。ご指導をいただきました学習サポーターの皆様始め、保護者の皆様、小・中学校の先生方などたくさんの方々のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

【本年度実績】

- ◇ 中3生「共に学ぶ『おおたま未来塾』」＜3年間の総復習、受験対策＞
 - 6月29日（土）～12月25日（水）
全18日間＜土曜日＋長期休業中の集中講座＞
 - 参加生徒27名、学習指導者（村講師）・学習サポーター（福島大学・大学院・教職大学院、東北学院大学、東北文化学園大学の学生）18名
 - 本年度の申込み数は27名で、学習班を2班に編成して学習会を行いました。
毎回8名前後の講師と8割程度（20名前後）の生徒が参加し、充実した学習会が開催され、生徒個々のレベルアップを図ることができました。参加者のアンケートの結果からも9割以上の生徒が「参加してよかった」「講師の指導がとてもよかった」「授業内容がよく分かった」など好評で、効果的な事業の展開を図ることができました。次年度も早めに計画・準備をし、生徒の実態やニーズに応じた充実した事業を実施してまいります。
- ◇ 小学生「共に学ぶ『おおたま未来塾』」＜1学期の復習、夏季休業の課題＞
 - 7月29日（月）、7月30日（火）【玉井小学校5、6年 於 改善センター】
7月31日（水）、8月1日（木）【大山小学校5、6年 於 大山公民館】
 - 参加児童16名、学習サポーター（学習支援ボランティア〈地域〉）5名
 - 大山、玉井両会場合わせて参加者数は16名と少なかったのですが、児童は熱心に学習に取り組み、4日間充実した学習活動を実施しました。参加者のアンケートの集計結果からも、「予定通りに学習が進んだ」「サポーターにやさしくていねいに教えてもらって、学習がかなり進んだ」「みんなと楽しく学習できた」「また参加したい」という感想がほとんどでした。



放課後子ども教室

新型コロナウイルスの感染防止のため、最後の合同交流会（ボランティアに感謝する会）を実施できずに終了となってしまいました。皆様のご協力により、大山教室28回、玉井教室27回の活動を事故無く終了することができました。今年度も、ボランティアのみなさんからいただいた多くのアイデアをもとに、指導員として中心になって進めていただくことで、初めての体験活動が増え、さらに充実した内容の子ども教室となりました。また、様々な活動を通して、子どもたちの成長する姿をボランティアさんと共に確認できたことが、何よりうれしいことでした。

大山教室

玉井教室

団子差し



餃子せんべい
餅のおかき作り



正月遊び



室内レクリエーション



オリジナル写真立て作り



団子差し



保護者の皆様にも「保護者ボランティア」として活動のお手伝いをさせていただくなど、大変お世話になりました。来年度もより一層地域の方々と協力し合い、様々な意見を取り入れながら地域全体で子どもたちの成長を促し、見守っていただけるよう教室運営に力を入れていきたいと思います。一年間、子ども教室の運営にご協力いただいたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校支援活動

3学期実績：ボランティア登録数129名
活動要請件数74件、活動延べ人数508名
令和2年3月5日現在

今年度も、各校・園で地域の方の知識や経験を生かした授業や活動が数多く実践されました。地域の方々が子どもたちの学習、活動に直接関わることで、お互いに交流しながら、双方の学びをより深めることができました。3学期に行われた主な活動を紹介します。

ボランティアの皆様には、この一年間学校支援ボランティア活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

学習支援活動

令和2年2月4日(火) 玉井小学校4学年の児童が、総合的な学習の時間に野内与吉資料館を見学しました。見学時、野内セサル良郎館長からのコメントをいただき、資料館ボランティアさんから説明や質問等にお答えいただきました。



園行事支援活動

令和2年3月3日(火) 大山幼稚園でひなまつりの由来についてのお話、クイズ、紙芝居を行いました。園児の歌や踊りもみられとても可愛らしかったです。



伝統工芸品の魅力を発信

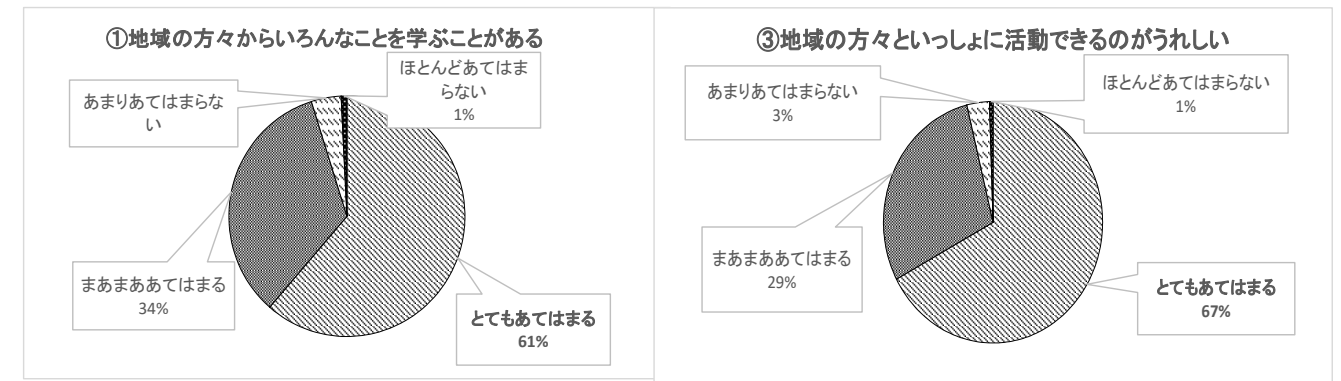
「魅力100%大玉村の伝統工芸品をつなげ!!」と題し、大玉中学校1年生が伝統工芸品の魅力などを書いたお便り、作り手の思いを書いたパンフレットを届けてくれました。令和元年7月10日に総合的な学習の時間に学校支援ボランティアさんと一緒に「大玉村の伝統工芸品製作」を行い、その活動の中で学習したことをまとめたものです。改善センター、ふるさとホール、村民プール、総合福祉センターさくら、直売所等に掲示してありますので、ぜひご覧下さい。



令和元年度「地域学校協働本部事業」アンケート集計結果より

(令和元年11月～12月実施)

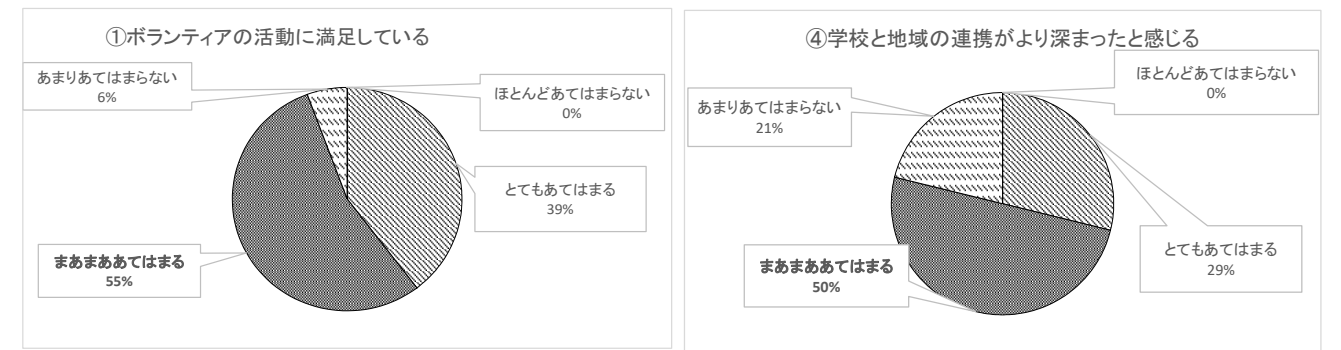
児童生徒



<考察>

○95%以上の児童・生徒が地域住民等との交流に意欲的に取り組み、喜びを感じています。
○伝統民俗芸能伝承活動に積極的に参加したり、地域の行事の企画・運営に関わったりする活動を通して、「自分も地域のために活動したい、役に立ちたい」という高い意識(郷土愛)をもつ児童生徒が増えてきています。(オータム・フェスタ、十二神楽・田植え踊り等の民俗芸能伝承活動、コミュニティ・フェスタ等)

学校支援ボランティア

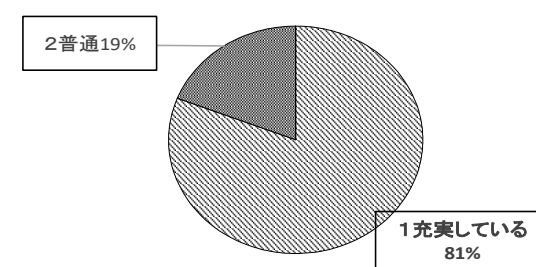


<考察>

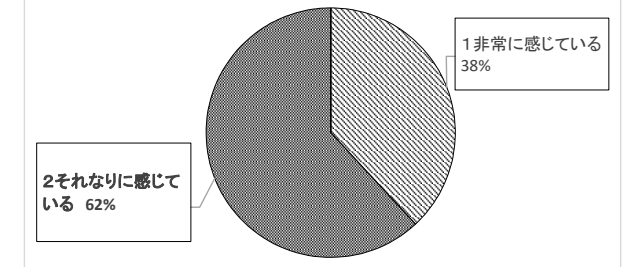
○ボランティアの皆さん参加意欲、実施後の満足度の高さが表れています。学校の忙しさについても理解して下さっており、少しでも児童生徒や教職員の手助けになろうと努力していただいています。
○学校と地域の連携(協力体制等)は維持されています。授業の充実の観点から、負担にならない程度の打合せを行い、ねらいや流れを確認したり、役割分担を明確にしたりすることが望ましいと思われます。ボランティア人材の発掘と育成には、今後も努めていく必要があります。(保護者も含めて)

放課後子ども教室ボランティア

①実施している活動内容について



③ ボランティアとしてのやりがい・充実感



<考察>

○ボランティアの参加意欲、実施後の満足度の高さが表れています。少しでも多く児童と関わり、活動を充実させようと毎回努力してくださっています。
○子ども教室の内容や進め方にすっかり慣れ、各々の特技を生かしながら、活動の指導に積極的に関わってくださるボランティアの方が増えています。